

# 徳大病院に神経免疫外来

## 来月開設 四国初、専門性向上

徳島大学病院(徳島市)は、神経免疫疾患の専門外来を5月に開設する。同疾患はさまざまな症状があり、診断や治療法の専門性が高まっている。脳神経内科の松井尚子准教授が日本神経免疫学会(東京)の認定医となったのをきっかけに設置を決めた。四国の病院では初めて。

神経免疫疾患には多発性硬化症や重症筋無力症、視神経脊髄炎スペクトラム障害などがある。徳島大学病院では現在、同疾患で約300人が診察を受けている。

専門外来は松井准教授ら医師2人が担当。当面は隔週の金曜日に診察する予定。運用状況を見ながら毎

週受け付けるかどうかなどを検討する。かかりつけ医などの紹介状が必要で、初診を希望する場合はフアクスで予約する。

同疾患は新薬の開発が進む一方で、国内の患者の使

用データが不足。専門医も少ないといった課題があるという。

松井准教授は「専門外来を設けることで、患者に合った治療方針が決めやすくなり、まだ受診していない患者も診断を受けやすくなる。県内の医療水準の向上に期待ができる」と話した。

(木村直哉)